

理学科 数理情報科学プログラム

I 総合型選抜（AO型選抜）の趣旨

抽象的な図形や数量を研究対象とする「数理科学」や、コンピュータ等の情報機器を利用し自然科学や工学及び社会科学への応用を研究する「情報科学」は、近年、目覚ましく発展し、その研究の高度化と多様化はますます顕著になっています。このような現状を踏まえ、数理情報科学プログラムは、「数理科学」本来の教育・研究を基盤とし、さらに情報科学との接点も視野に入れ、情報科学の数学的基礎とともに統計科学からのアプローチを合わせた情報の「理論的側面」の教育も行っています。

このような観点から、本プログラムでは、数理科学及び情報科学の基礎と幅広い教養を身につけた総合的判断力をもつ、社会に貢献できる人材を育成することを目指しています。特に総合型選抜（AO型選抜）では、理学科数理情報科学プログラムのリーダーとなるような学生を求めています。

II 教育目標と入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）等

1 教育目標

理学科数理情報科学プログラムでは、数学および数学を基盤とした情報科学や統計科学について講義・演習・セミナー・計算機実習等を通じて学びます。情報科学や統計科学を含む高度な数学を学ぶことにより、創造的かつ柔軟な思考力をもつ人材の育成を目標にしています。

2 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材像

数学及び情報科学に関する基礎的な知識と理解力を備えており、数学と理科に高い学力を有する人

入学前に身に付けておいて欲しいこと

- (1) 高等学校で学ぶ国語、外国語、数学、理科、地理歴史、公民の基礎学力に加えて、数理情報科学プログラムで行われる専門教育を理解するために数学を中心に自然科学に関する高い学力を身に付けてください。
- (2) 高等学校で学ぶ教科の学習や、課外活動などの様々な体験を通じて、論理的な思考能力と表現力を身に付けてください。

入学者選抜の基本方針

適性試問と面接によって数学への適性と論理的思考能力及び表現力を判定します。

III 募集人員

7人

総合型選抜（AO型選抜）の合格者が募集人員に満たない場合は、その欠員は一般選抜（前期日程）の募集人員に含めます。

理 学 部

IV 入学者選抜方法

入学者の選抜は、適性試問、面接試問、アドミッション・ポリシーに対する適性及び出願書類（調査書、志望理由書など）に基づいて総合判定し選抜します。なお、大学入学共通テストは課しません。

- 1 **第1次選抜**：志願者数が募集人員の4倍を超えた場合、出願書類により実施することがあります。
- 2 **第2次選抜**：第1次選抜合格者にのみ、適性試問と面接試問を実施します。

3 適性試問及び面接試問の期日等

期 日 令和5年11月21日（火） ※9：00までに集合

場 所 理学部検査場

集合場所 理学部1号館正面玄関前

4 適性試問及び面接試問の時間割

時刻	9：00	10：00	11：00	12：00	13：00	14：00	15：00	16：00
学部・学科等								
理学部 理学科 数理情報科学プログラム	9:00 集合	適性試問 9：30～12：00				13:30 集合	面接試問 14：00～17：00（予定）	

5 適性試問、面接試問及び出願書類の実施形態と評価事項

区分	実施形態		評価事項
適性試問	学力試験	150分	数学に関する基礎知識及び論理的思考力・理解力・文章表現力などを評価する。
面接試問	個人面接	15分程度	調査書と志望理由書を参考に行い、数理情報科学に関する関心度・学習意欲・論理性などを評価する。
出願書類			志望動機・理由、自己アピール、将来の夢及びこれまでに解いた数学の問題について評価する。

6 選抜方法に関する配点

適性試問	面接試問	出願書類
300	100	※

※は、志望理由書等を3段階で評価し、総合判定の資料とします。

7 合否判定基準

アドミッション・ポリシーに則った適性の有無を踏まえ、適性試問、面接試問及び出願書類を総合的に判定して合否を決定します。

ただし、一定の基準に達しない場合は、順位に関わらず不合格とします。